

# 社会実装を見据えた研究で 大学の価値と国際競争力を高める



## 神戸大学

神戸大学は「人文・人間科学系」「社会科学系」「自然科学系」「生命・医学系」の4大学術系列にわたる

11学部15研究科1研究所からなる総合大学だ。

「学理と実際の調和」を建学の理念とし、デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパークを研究拠点に、実践的な学びを重視した研究と教育を行っている。

### 総合大学の強みを活かした 異分野共創研究

「あなたの学びたいことがここにある——そんな大学でありたいと思っています」

そう話すのは、神戸大学の藤澤正人学長だ。2021年の学長就任以来、ビジョンに掲げる「知と人を創

る異分野共創研究教育  
グローバル拠点」を  
指して、大学改革を進  
めてきた。

2025年4月に医学部に新設された医療創成工学科も異分野共創研究の場だ。医学と工学という2つの領域を合わせ、医療機器の国内開発を支える高度な専門人材を育成する。複数の学部を備えた総合大学の強みを生かした学科と言える。



藤澤 正人 学長

ふじさわ・まさと／1984年、神戸大学医学部卒業。89年、同大学大学院医学研究科博士課程を修了。同大学大学院医学研究科長、医学部長を経て、2021年から現職。

情報知能工学科を発展的に改組したシステム情報学部も2025年4月に誕生した。AIやデータサイエンス活用が必須となる時代の進化を受け、



神戸の街並みを一望できる百年記念館は学術研究の交流の場だ



六甲台第1キャンパス、六甲台第2キャンパスは、文教地区として知られる六甲台に位置している



六甲台本館には経済学研究科、経営学研究科がある

ではの価値を生み出す新たな視点や技術を創出し、国際競争力を育てる研究教育環境の構築を推進する。変革のカギを握る研究拠点が、2023年に設立されたデジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク（DBLR）だ。バイオものづくり共創研究拠点のほか、医学研究拠点、先端膜工学研究拠点、健康長寿研究拠点、社会システムイノベーション研究拠点で構成される。

DBLRでは産官学連携も盛んだ。神戸医療産業都市における産官学ポートアイランド戦略の中核として、神戸大学と神戸市、民間企業と連携した研究が数多く展開されている。産官学連携本部に加え、株式会社神戸大学イノベーション（KUI）や株式会社神戸大学キャピタル（KUC）といったベンチャーキャピタルファンドも産官学連携を後押しする。設立された大学発スタートアップは110を超えた。

藤澤学長は、研究が社会実装につながることを強く重視している。

「神戸大学の理念は『学理と実際の調和』です。大学での学びを世に役立てなければなりません。大学は、



バイオものづくり研究の様子



社会科学系図書館では、学生たちが思い思いに自習する

者の支援は、大学として最も重要なポイントだと思います」

### 専門性を伸ばし「多くの 引き出し」も持つてほしい

2026年4月には、医学研究科と保健学研究科を統合した「医学系研究科」を設置する予定だ。（届出）博士前期課程では「公衆衛生学」を新たに加え、4つの研究分野を横断的に学ぶとともに、近年重視される「総合知」を身に付け、専門知と総合知を駆使して社会の課題を解決する人材の育成を目指す。

「医学も保健も本来は医療領域で働く人間なので、連携すれば今までよりも幅広い知識を持った人材を育成できると期待しています」

藤澤学長はさまざまな学びや研究にふれることの大切さを強調する。「大学で専門性を高めながら、『多くの引き出し』を持つてほしいです。社会実装という実学的な視点を忘れず、興味のある分野があればその門を積極的に叩く。総合大学である神戸大学ではそれが可能です。神戸大学の環境を活用して自分のやりたいことを追求してほしいです」



大学院海事科学研究科附属練習船「海神丸」



大学院農学研究科附属「食資源教育研究センター」

Pick-Up

### バイオものづくり研究 J-PEAKSに採択

2023年度、文部科学省による「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」において、神戸大学の提案「バイオものづくりの卓越した基礎研究と社会実装の両輪で世界をリードするイノベーションを継続的に創出する地域中核のグローバル・イノベーション・キャンパス」が採択された。藤澤学長は「J-PEAKSの採択を受け、さらにグローバル・イノベーション・キャンパスへの変革を加速させたい」と話す。異分野共創研究領域「Engineering Biology」を構築し、地域のバイオ産業活性化にも貢献する世界トップクラスのバイオものづくり研究拠点として、社会変革を促す人材の創出をめざす。

藤澤学長は力強く言い切る。「産官学連携の研究の場で、研究者が生み出した知を社会に活かすための取り組みを着実に進めていきたいです」

### 学びの広がり和社会への力を育む大学



「大学ランキング」編集長  
「AECIA DIGITAL」副編集長  
こわたな なおこ  
国府田 直子の  
ワンポイント

神戸大学の魅力は幅広い分野で学びを深められることにあります。法学・経済学から医学・自然科学まで多様な学部を擁し、さらに「海洋政策科学部」など特色ある学びを展開。国際都市・神戸という環境を背景に、留学生との交流や海外派遣の機会も豊富で、学際的な研究や異分野交流を通じて新たな視点を得ることができます。いまの時代は「専門力」と同時に「柔軟に社会に対応できる力」が求められています。神戸大学は、防災・感染症研究から企業との連携まで、社会課題に直結する教育・研究実績を持ち、その両方を磨ける場でもあります。受験生にとって神戸大学は「学びの広がり」と「未来の可能性」を手に行ける選択肢と言えるでしょう。

